

2学期終業式 校長講話

[令和2年12月25日(金)]

2学期は、始業式から今日まで124日、その中で授業のある日は86日でした。ちょうど夏休みに入る頃に、新型コロナウイルス感染症の第2波が起こっていて、今は第3波がそれ以上の勢いで襲っています。

春木中学校は、生徒の皆さん、先生方、学校を支えてくれる職員の皆さんに、まだ1人の感染者も出ていません。これは、マスクの着用や、教室の換気など、全員で感染防止にがんばった結果だと思っています。これからも引き続きマスクの着用を続けて、自分とまわりの人々の命を守りながら、毎日の活動を続けられるように協力してください。

さて、3年生の皆さんは、卒業後の進路を決める大切な時期になりました。自分が本当にやりたいことは何か、今の自分にできることは何か、自分を見つめて決断するのは、とてもしんどい作業です。しかし、ここで悩みぬくからこそ、次の場所でがんばれます。楽で簡単な決断はせずに、納得のいく進路選択をしてください。そして、決めたからには立ち止まらずに、全力でゴールめがけて駆け抜けてください。心から応援しています。

2年生の皆さんは、3年生から部活動、生徒会活動などを引き継ぎ、学校の中心となって頑張ってくれました。また、毎月行われている生徒議会では、みんなにとって居心地の良い学校、誇りをもてる学校にするために、前向きな意見を言ってくれました。つい先日行われた「車いすダンスの芸術鑑賞」では、車いすダ

ンスのメンバー、スタッフ、そして外部から見に来ていたお客さんまで、「2年生の鑑賞態度が素晴らしかった。」「切り替えが早かった。」「とても気持ちよく演技をさせてもらえた。」とお褒めの言葉をいただきました。その言葉を聞いて、私はとても誇らしかったし、うれしかったです。新型コロナの影響で、楽しみにしていた学校行事が次々と中止になり、ストレスのたまる2学期だったと思います。それにも関わらず前向きに頑張ってくれた皆さんを、とても頼もしく思っています。

1年生の皆さん。入学してから早いもので9か月が経ちました。中学校生活に慣れてきた頃だと思えます。余計な緊張感やストレスがなくなって自然体で学校生活を送れるのは良いことだと思います。しかし、その「慣れ」が良くない方向へ向かってしまって、勉強がおろそかになったり、ルールが守れなくなったりしてはいけません。もう一度、今の生活を見つめなおして、自分で気付いて直してほしいと思います。話は変わりますが、毎朝正門であいさつをしていて、一番あいさつを返してくれるのは1年生です。入学した時からずっと変わらずに、「おはようございます」と元気にあいさつをしてくれる人もいます。とてもうれしいです。これからも、あいさつを大事にできる学年でいてください。

「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。今年1年で、自分が成長したこと、反対にもっと頑張れば良かったことを一つ一つ整理して、新年の誓いを立ててほしいと思います。